

活動の場所

滋賀県甲賀市「油日植物園」
北海道函館近海「昆布の森再生プロジェクト」



活動目的

油日植物園：絶滅危惧種・希少種を含む植物の保全や次世代への環境教育など地域・社会への貢献に取り組む
昆布の森再生プロジェクト：ガゴメ昆布の利用を天然から養殖へ切り替えることで、天然ガゴメ昆布の保護・再生を目指す

活動内容

・油日植物園

1947年の植物園開設当初は、医薬品の基原植物の栽培や天然物からの創薬シードの探索を目的とした植物栽培を行っていましたが、再整備により、現在は環境問題への取り組みや地域・社会貢献を行っています。

【主な活動】

1、絶滅危惧種・希少種の保全

絶滅危惧種・希少種をはじめ1000種を超える植物を保全しています。また、種の保全が危ぶまれる植物の生息域外保全を行い、園内で繁殖させたのち自生地に復帰させる試みも進めています。

カテゴリ別絶滅危惧種保全状況

絶滅危惧ⅠB類のムラサキ

環境省カテゴリ (絶滅危惧IA類, 絶滅危惧IB類, 絶滅危惧II類, 準絶滅危惧)	76種
滋賀県カテゴリ (絶滅危惧種, 絶滅危機増大種, 希少種, 要注目種, 分布上重要種, その他重要種)	70種
甲賀市カテゴリ (絶滅危惧種, 絶滅危機増大種, 要注目種, 地域種)	43種



2、次世代への環境教育

植物園を通じた地域への社会貢献活動として、京都薬科大学や元神戸薬科大学の先生をお招きし、近隣の小学生や高校生を対象に、次世代を担う子どもたちの教育支援に取り組んでいます。



近隣学校児童への教育支援

・昆布の森再生プロジェクト

グループ会社のシオノギヘルスケアではガゴメ昆布を利用した健康食品を製造していますが、ガゴメ昆布の天然産地が消滅の危機に瀕しています。そのため、天然から養殖へ切り替えるプロジェクトを開始し、2024年までに天然ガゴメ昆布の使用量をゼロにする目標を掲げています。函館市や大学、企業などとも連携して養殖ガゴメ昆布の安定供給体制と品質改善を図ることで天然ガゴメ昆布の保護・再生に取り組み、豊かな自然の回復に向けて活動を進めています。



養殖中のガゴメ昆布

PRしたいポイント

上記の生物多様性保全活動を含む環境保全に関する取り組み目標を環境大臣に提出し、製薬企業として初めて「エコ・ファースト企業」として認定されました。SHIONOGIグループは、「SHIONOGIグループEHSポリシー」および「SHIONOGIグループEHS行動規範」に基づき、ビジネスパートナーとも協働しながら、自然資本の保全に向けた取り組みを進めています。

活動効果、今後の展開 等

・油日植物園

植物園が取り組んでいる上記の地域・社会貢献活動が、生物多様性の保全や自然資源の持続的な利用に取り組んでいると評価され、令和3年度「しが生物多様性取組認証」において、最上級認定である3つ星を取得しました。

・昆布の森再生プロジェクト

2022年度に天然ガゴメ昆布から養殖ガゴメ昆布への切り替え率50%を達成、2024年度には天然ガゴメ昆布の使用量ゼロを目指しています。

SHIONOGIグループ

サステイナビリティ推進部

<https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/environment/performance/biodiversity.html>